

河北新報

2015年(平成27年)

3月17日(火)

河北新報社

〒980-8660
仙台市青葉区五橋1-2-28
www.kahoku.co.jp

「東」は、未来



総合案内 022(211)1111
読者相談室 (211)1447

ご購入申し込みは
オオク ミナヨム
0120-09-3746

ビル・ストックマネジメント
同和興業
DOWA
仙台市青葉区一番町四丁目6番1号
(仙台第一生命タワービルディング)
フリーコール ☎ 0800-888-2222

再生へ心ひとつに

東日本大震災関連記事

福島・富岡 被災パトカー移設展示 29

東日本大震災の津波で福島県警の警察官2人が殉職したパトカーについて、同県富岡町は水洗い処理を終え、町中心部の公園に移設展示した。震災遺産として保存する。



風化防止 報道とアートが融合 27

震災の風化を報道とア

信仰の違い 超え連携を



宗教者が地域と連携することで担える役割を考えた「防災と宗教」シンポジウム16日、仙台市青葉区のTKPガーデンシティ仙台

仙台市で開催中の第3回国連防災世界会議は16日、3日目を迎え、本体会議や一般公開事業で議論を深めた。「防災と宗教」シンポジウムには国内外のさまざまな立場の宗教者や研究者ら約400人が参加。東日本大震災の教訓から大災害発生時や復興期には宗教者が重要な役割を担えるとして、その実践のため、宗教間の対話と相互理解を進めて英知を結集していくべきだとする提言をまとめた。

災害時の宗教者の役割を指摘した。祈りや弔いが、悲しみを背負った被災者の心に寄り添う宗教者本来の災害対応であることを確認する文言も盛り込んだ。提言発表に先立ち、宗教者災害支援連絡会世話人の稲場圭信・大阪大学大学院准教授が震災後に芽生えた宗教施設を取り巻く関係性の変化について報告した。災害の際に宗教施設を避難所として活用しようと、地元自治体が施設と協定を結んだりする事例が増え

国連防災世界会議 in 仙台

災害時の役割 提言 宗教者らシンポ

ていると指摘。「宗教者側が日ごろから地域と連携し、開かれた取り組みとしていくことが大切」と訴えた。

パネル討論では、愚鈍院(仙台市)の中村瑞貴住職が、心のよりどころとなる宗教者が存在することが、避難場所としての宗教施設の特徴と強調。「被災者と支援者、行政と地域を結び付ける役割を宗教施設は果たせる」と述べた。

世界宗教者平和会議(WCRP)ハイチ委員会委員長のピエール・アンドレ・ドマス司教は「復興に向かう道のりの中で、宗教者は地域住民と一緒に歩んでいきたい」と語った。

- 国連防災会議関連記事
- 2 「医療の司令塔 急増参加者、10万人超へ
 - 3 教訓発信に企業一役
 - 9 各国の災害対策紹介
 - 15 メンタルヘルス支援
 - 19 事故後の福島考える
 - 27 障害者に優しい運営
 - 28